

歴史ある古一小の木造校舎



# 校舎に感謝し清掃 月に一度の「愛校日」

## ① 古川第一小



大崎市古川第一小(青木司一校長・児童数608人)には、毎月第一月曜を「愛校日」と呼び、全校児童が校舎をすみずみまで掃除する日がある。歴史ある校舎に感謝の気持ちを伝えるよう行われている取り組みで、10年ほど前に始まった。

同校の南校舎と北校舎は、大崎市内に唯一残る木造校舎。北校舎は今年で81歳、南校舎は79歳を迎える伝統

のある建物だ。愛校日当日は、愛校委員会が中心となって掃除を進める。最後の授業が終わると、愛校委員は放送で愛校日を知らせ、「今日は窓ふきをしっかりとやりましょう。枠の部分も忘れずふきましょう」などと掃除するポイントを細かく伝える。その後は各教室に行き、全員がきちんと掃除できているかを確認する。

愛校日は特別に、愛校委員が選んだ音楽を流しながら、いつもよりいねいに掃除する。全校児童で協力し、机や床は水ぶきし、本棚の後ろやロッカーの裏のすき間は、ほうきでしっかりとほこりをかき出す。黒板も忘れず、びかびかに磨く。



心を込めて、北校舎の1階を一生懸命掃除する6年生

木造校舎の床は古く、まなべられているところもある。そのため掃除中ささくれば手に刺さってけがをすることもあるという。しかし、児童たちは大好きな校舎のため、心を込めて一生懸命掃除している。

愛校委員長の佐藤可帆さん(19)は「冬はすき間風が入って寒いけれど、私の祖父も父も通った校舎だと思うと、不思議とあつたかい気持ちになる。これ」と話していた。からも大事に使いた古一小を卒業し、



## 元気に「おはよう」 古川南中であいさつ運動

大崎倫理法人会(菅野利昭会長)は、毎週火曜日の朝、古川南中(氏家茂校長)の入り口前であいさつ運動を行っている。

菅野会長は「あいさつは人間関係の基本。大人になってもしっかりとできるようになってほしい」と期待。運動は来月まで続ける。

**JR高速バス (古川⇄嶋)**

もっと身近に！  
より快適に！

古川～仙台間 平日31往復

●大人片道	1,270円
●子供片道	640円
●高速バス専用回数券	
4枚つづり	3,000円
●回数券ご利用で片道	750円

JRバス東北株式会社  
古川営業所